

## 令和5年度 学校評価（前期）について

平戸市立大島中学校  
校長 小田 教哉

学校評価（前期）アンケート[4段階評価]を7月に実施しましたが、ご多用中にご協力いただき、まことにありがとうございました。このアンケート結果をもとにして考察し、次のようにとりまとめましたのでご報告いたします。

### 1 確かな学力の定着について **生徒：3.4 保護者：2.8 教職員：3.2**

本校では、国語科、数学科、英語科におけるTT（チームティーチング）、「めあて」と「まとめ」が子どもに届く授業、ICT機器の効果的な活用等、少人数を活かした「個に応じた学力向上への取組」に努めています。授業内容の理解につきましては、「全国学力学習状況調査」や「県学力調査」等の結果から、前年度と比較しても高い正答率となっていますので、学力向上への取組の効果が表れていることがわかりました。

しかし、保護者の評価と生徒の評価を比べると、評価に差（保護者の評価が低い）があることがわかりました。そこで職員研修において、これらの課題解決についての話し合いを実施しました。改善策として、教職員は、「長崎県授業改善メソッド」を活用した研究授業の実践（「できた」「分かった」の笑顔あふれる授業の工夫）と授業改善の徹底及び保護者の皆様に授業参観や学校行事以外にも足を運んでいただけるような学校づくりに取り組んでいくことを確認しました。学力向上につきまして、お子さんの進路実現に向けて、家庭学習の習慣化と読書活動にご協力ください。よろしく願いいたします。

### 2 豊かな心の育成について **生徒：3.3 保護者：3.2 教職員：3.3**

豊かな心の育成は、確かな学力の定着と同様に重要事項として取り組んでいます。いじめを許さない環境づくり、ほめて育てる指導や、体験学習についての満足度は、全体的に前年度より高い評価を得ています。

「考え、議論する道徳」の授業実践については、保護者2.6という評価で、昨年度と比較すると低い結果となっています。このことにつきましては、学校だより、学級だより等で、道徳の授業での教育的効果や授業内容等を紹介することで、評価を上げたいと考えています。

2学期は、「相手の心に届くあいさつをしよう」という目標を掲げ、生徒指導部からは「思いを伝えることを意識しよう」（①元気にあいさつ ②元気に返事に取り組んでいるところです。生徒指導面での問題行動等は見られていませんが、学校としてはこれからも「傾聴」という姿勢で、注意深く観察指導を継続していきます。

### 3 家庭との連携について **生徒：2.8 保護者：2.8 教職員：2.8**

前年度の評価内容と大きな変わりなく、PTA活動や地域内活動、部活動等で、家庭との連絡はとれており、その場で相談内容が解決することが多々見受けられました。したがって家庭に連絡したり家庭訪問をしたりするほどの事案がないことも考えられ、家庭との連携につきましては評価が上がらない要因であると考えています。また、家庭での読書の推進や、学びの習慣化についての家庭との連携が取れていません。職員研修において、子どもたちは、帰宅してからの時間や睡眠時間の確保を考えると現実的に厳しい状況下であること、デジタル化が進む中で、本を読む習慣が少なくなっていることは間違いのないのではという意見が挙がりました。

（裏面に続きます）

読書の推進にあたっては、学校だより5号において法的な説明をしていますが、感性や表現力を身に付ける効果がありますので、読書への意識を継続して高めていく必要があると考えています。

また、メディアコントロール、朝ごはんプロジェクトへのご協力ありがとうございました。各家庭によっては差があるものの、メディアコントロールについては昨年度より良く取り組んでいただきました。ただ、朝ごはんプロジェクトにつきましては、昨年度より低い結果となりました。本校では、栄養教諭、養護教諭を中心に、食育の推進と規則正しい生活リズムを身に付けさせ自立、自律する力の育成にも取り組んでいますので、ご家庭でもご理解いただき、今後とも本教育活動に対してのご協力をお願いいたします。

#### 4 教育環境の整備について **生徒：3. 6 保護者：3. 7 教職員：3. 3**

校舎の美化及び施設・設備の適切な処置、整備については、生徒3. 2、保護者3. 5と高い評価を得ることができました。学校用務員、事務職員、教員自身の意識の高さ、生徒会委員会活動の活発な動きを感じることができました。校内掲示物の工夫に対する教職員の自己評価が2. 9と低かったので、これは教職員全体の課題として捉え、掲示教育の推進に努めてまいります。

危険箇所や工事等をともなう環境整備につきましては、粘り強く教育委員会とも交渉し改善に努めていきます。また、校地の除草等についても、PTA と連携を図りながら進めていきたいと思っておりますのでご協力よろしくをお願いいたします。

#### 5 教職員の指導について **生徒：3. 7 保護者：3. 6 教職員：3. 4**

教職員のPTA 活動や地域活動への積極的な参加につきましては、非常に高く評価されています。

地域の一員として、積極的に参加・協力していることに対してのこの評価は大変喜ばしいことですし、励みにもなります。後期も生徒、保護者、地域と学校の信頼関係を深めるよう、努めていきます。

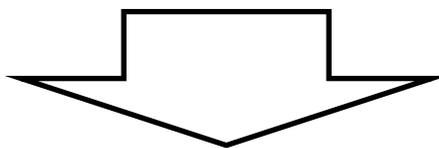
「子は宝」です。明日も学校へ行きたくなるという、そのような学校づくりを「チーム大島」「オール大島」で、さらに磨きをかけて取り組み、子どもたちの学びや日々の生活を活性化していきます。

◎第2学期スローガン：「**相手に届くあいさつをしよう**」「**努力を続けよう**」

知育：**温故知新**（既習事項を学び直し、新しい知識や見解をひらき自分のものとする）

徳育：**春風秋霜**（春の風のような穏やかな態度で人に接し、秋の霜のような厳しい態度で自らを律する）

体育：**生命尊重**（適切な運動を実践し、身体の健全な発達を促すことを通して自他の生命を尊重する）



**ウェルビーイング**

〔**個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に**

**良好な状態にあること**〕

私たち、大島中学校の教職員は、「**子は宝**」であることを教育の根幹に据え、生徒、保護者、地域全体の協力を得ながら、この崇高な教育目標を達成したいと思っております。